令和８年度

まんたらめ

学校利用の手引き

秋田市太平山自然学習センター

TEL　018－827－2171
FAX　018－827－2173
E-mail　ro-edoo@city.akita.lg.jp

目次

Ⅰ　利用について

１　利用にあたって　・・・・・・・・・・１
２　送迎、食事、経費等　・・・・・・・・・・３
３　利用当日までの流れ　・・・・・・・・・・３
４　使用料、食事代等　・・・・・・・・・・４
５　利用の実際　・・・・・・・・・・６
６　キャンプ場の利用について　・・・・・・・・・・11

Ⅱ　活動計画について

１　計画作成にあたって　・・・・・・・・・・12
２　研修当日の補助について　・・・・・・・・・・12
３　主な活動プログラム例　・・・・・・・・・・12
４　貸し出し用具一覧　・・・・・・・・・・16
５　外部講師の依頼について　・・・・・・・・・・19
６　活動施設の概要　・・・・・・・・・・20
７　周辺施設について　・・・・・・・・・・20
８　主な活動プログラムの実際　・・・・・・・・・・21

Ⅲ　その他

１　施設概要　・・・・・・・・・・23
２　宿泊室について　・・・・・・・・・・23
３　危険な生き物について　・・・・・・・・・・23
４　施設平面図　・・・・・・・・・・25
○　令和8年度利用予定表　・・・・・・・・・・26
○　資料　提出書類の記入例　・・・・・・・・・・27
○　電話番号一覧　・・・・・・・・・・38

Ⅰ　利用について

1 利用にあたって

(1) 設立の目的

秋田市太平山自然学習センターは、太平山の豊かな自然環境の中で、集団生活や自然体験、創作的活動等の野外活動を通して、青少年の健全育成および市民の生涯学習を推進することを目的に、平成15年８月22日に設置されました。

(2) 方針

自然体験や創作活動ができる環境を整えるとともに、利用者（各学校）が、主体的に活動できるように支援をしていく。

スローガン　「真剣」「体験」「発見」

(3) 学校に対する支援の重点

① 自然体験を柱にした計画づくりへの支援

- 自然とふれあい親しむ活動プログラムの開発、提案
- 安全確保のための環境整備
- 周辺施設との連携

② 時間の有効活用への支援

- 各学校の規模と実態に合わせた時間設定への助言
- 準備や片付け対策の提案

③ 事前準備への支援

- 活動計画に合わせた事前準備への指導助言
- 関係機関や外部講師との連絡調整
- 安全対策や緊急対応のための指導助言

④ 生きる力につながる体験活動への支援

- 成長段階に合わせた活動内容の工夫

(4) 利用上の留意事項

① 生活

以下の点について、児童生徒に事前指導をお願いします。

- 公共施設使用のマナーや時間を守る。
- 野外活動では、周辺の状況に気を付けながら集団で行動する。
- 食事をしっかり取り、決められた時刻に就寝、起床する。
- 給水や衣服調整等に気を配り、体調管理に努める。

② 引率者

- 実施予定の活動は、担当者が自分で事前にやってみてください。
- 安全対策や緊急対応については、あらゆる場面を想定して計画してください。
- 活動中は、無線機を利用して、引率者同士で情報を共有して対応してください。
- いつもと異なる環境です。引率者自身も体調管理に気を付けてください。

③ 野外活動

- 危険な生き物について、特徴や対策など、事前に学習してください。（P23～24　参照）
- 活動内容や活動場所に合わせた服装の準備が必要です。
- 登山道や道路などの状態を的確に把握しておくことが必要です。下見は必須です。
- 山の天気については、気象情報をしっかり把握し、活動の可否を判断してください。
- 火を扱う活動では、火傷防止のため細心の注意が必要です。

④ 施設・用具の利用

- 施設や用具は大切に扱ってください。利用者が元通りに片付けることが基本です。
- 使用する用具について、事前の知識や経験があると活動がスムーズです。
- 刃物などを扱う場合、学習経験の有無を問わず指導し、怪我の絶無に努めてください。
- 敷地内は禁酒、禁煙です。

⑤ その他

- 活動中の様子を撮影した写真を当センターのホームページやポスター、実践集録等に使用することがありますので、ご了解ください。
- 申込み等で知り得た個人情報については、厳重に管理します。
- 送迎バスは、市立学校については当センターで手配します。学校とセンター間を運行します。安全配慮のため活動場所以外での途中下車はできません。
  市立学校以外は、各学校で手配してください。

(5) 休館日

① 第2・4月曜日（月曜日が休日の場合は、翌日火曜日が休館日となります。）

② 年末年始（12月29日～1月3日）

※休館日の前日は宿泊できません。

2 利用当日までの流れ

	利用学校	まんたらめ
利用日の １か月半前	センターでの事前打合せ・現地下見 ・日程、活動プログラム、食事等	・活動計画全体についての助言
	必要に応じて ・周辺施設の予約 ・外部講師との打合せ	・外部講師の仲介
利用日の１か月前 （必着）	①使用許可申請書 （郵送、メール便、持参） ②活動計画書（メール、FAX可） ③木材注文票（メール、FAX可） ※減免申請書 （市立以外の市内小・中学校が） を提出	・日程調整やバスの手配 ・木材の注文
利用日の３週間前 （必着）	食物アレルギーがある児童生徒 ・「アレルギー物質に関するアンケート」を提出 （郵送、メール便、持参）	・食事提供業者への連絡 ・食物アレルギー対応の調整
利用日の２週間前 （必着）	①食事等注文票 ②食堂テーブル座席票 ③用具貸出票 （①②③ともにメール、FAX可） を提出	・食事の注文 ・食堂や用具の準備
	・現地下見の実施	
利用日の１週間前	変更がある場合 ・書類（訂正版）の再提出	・バス配車表の送付 （市立学校）
利用日の４日前 （必着）	・しおり もしくは 細案 4部提出 ※宿泊者名簿が入っているもの （郵送・メール便・持参） 必要に応じて ・食事数変更（訂正版）を提出	・日程の最終確認 ・支援計画の作成 ・食事提供業者への連絡
利用当日	**入所時打合せ**（活動全般、食事関係）	

3 使用料、食事代等

※以下の料金はすべて税込みの金額

（1）宿泊使用料金（市立学校は無料）

① 宿泊使用できる時間は、入所日の10：00～退所日の9：00です。

② 宿泊使用料は事務室へ現金払い、又は銀行へ納付書払いをしてください。

宿泊の種類	区　分		使用料（一人あたり）	部屋・テント代	経　費	備　考
館内泊	市内の市立以外の学校	一般	2,600円	減免制度有り	使用料のみ	全施設使用可
		小・中学生	1,300円			
	市外の学校	一般	2,600円	減免制度なし		
		小・中学生	1,300円			
テント泊	市内の市立以外の学校	1張り	1,800円	減免制度有り		大屋根広場と炊事棟使用可
	市外の学校	1張り	1,800円	減免制度なし		

※市立以外の学校は、テント泊で入浴を希望する場合、一人150円かかります。

（2）日帰り使用料金（市立学校は無料）

① 日帰り使用できる時間は、9：00～18：00です。

② 日帰り使用料は事務室へ現金払い、又は銀行へ納付書払いをしてください。

区　分	使用料（1時間あたり）	備　考
研修スペース	1,200円	
ワークショップ	750円	
食堂	900円	食事注文をした場合、使用料不要
宿泊室	200円・300円	1部屋あたりの料金
大屋根広場	1,800円	
炊事棟	450円	1棟あたりの料金

（3）シーツクリーニング代

シーツクリーニング代は、クリーニング業者へ銀行振込で支払ってください。

区　分	代　金	セット数	振込金額	振込手数料	備　考
・宿泊室用 ・シュラフ用	1セット 440円	1～2セット	1セット　440円 2セット　880円	学校負担	当日欠席および早退による未使用の場合は無料
		3セット以上	440円×セット数－振込手数料	業者負担	

（4）食事代

① 食事代は、食事提供業者へ支払いをしてください。

② 食事は、10食から注文を受け付けます。

区　分			市立学校	市立以外の学校	備　考
基本食	朝食	小学生	375円	750円	利用日の3日前(その日が休館日の場合は4日前)の正午以降はキャンセル料が発生します。
		中学生	400円	800円	
	昼食	小学生	400円	800円	
		中学生	425円	850円	
	夕食	小学生	425円	850円	
		中学生	450円	900円	

※野外炊飯を実施する場合は、食材は持参してください。（相談可）

（5）基本食

※詳しくは、当センターのホームページの「食材一覧」を参照してください。

朝　食	食　品　名
手巻きおにぎり	小学生1個（鮭）　中学生2個（鮭、昆布）
おかず	オムレツ　肉しゅうまい　ポークウインナー　鶏照焼　ポテトサラダ
	金平ごぼう　いんげんごま和え
味噌汁	味噌　乾燥わかめ　かつお節粉末
飲み物	麦茶（紙パック）
デザート	みかんシロップ漬

昼　食	食　品　名
米　飯	精白米　※トッピング（たまごそぼろ　鶏そぼろ）
おかず	焼きそば　鶏唐揚げ　コーンのせ野菜炒め　ひじき煮
味噌汁	味噌　乾燥わかめ　かつお節粉末
飲み物	麦茶（紙パック）
デザート	和梨ゼリー

夕　食	食　品　名
米　飯	精白米
おかず	ハンバーグ（デミグラスソース）　スパゲティ　白身フライ（たら）　スマイルポテト
	ブロッコリー　豚玉ねぎ生姜焼き炒め　ほうれん草のおひたし
味噌汁	味噌　乾燥わかめ　かつお節粉末
飲み物	麦茶（紙パック）
デザート	ガトーショコラ

（6）特別食

品　名		料　金	備　考
緑茶		120円	200ml　紙パック
		140円	280ml　ペットボトル
麦茶		120円	250ml　紙パック
		140円	280ml　ペットボトル
		180円	650ml　ペットボトル
爽健美茶		180円	600ml　ペットボトル
ミネラルウォーター		180円	540ml　ペットボトル
アップルジュース		120円	200ml　紙パック
アクエリアス		180円	500ml　ペットボトル
パン類	マーラーカオ	140円	2個
	バナナ蒸しパン	140円	2個
	ケーキドーナツ	150円	4個

4 利用の実際

（1）標準生活時間

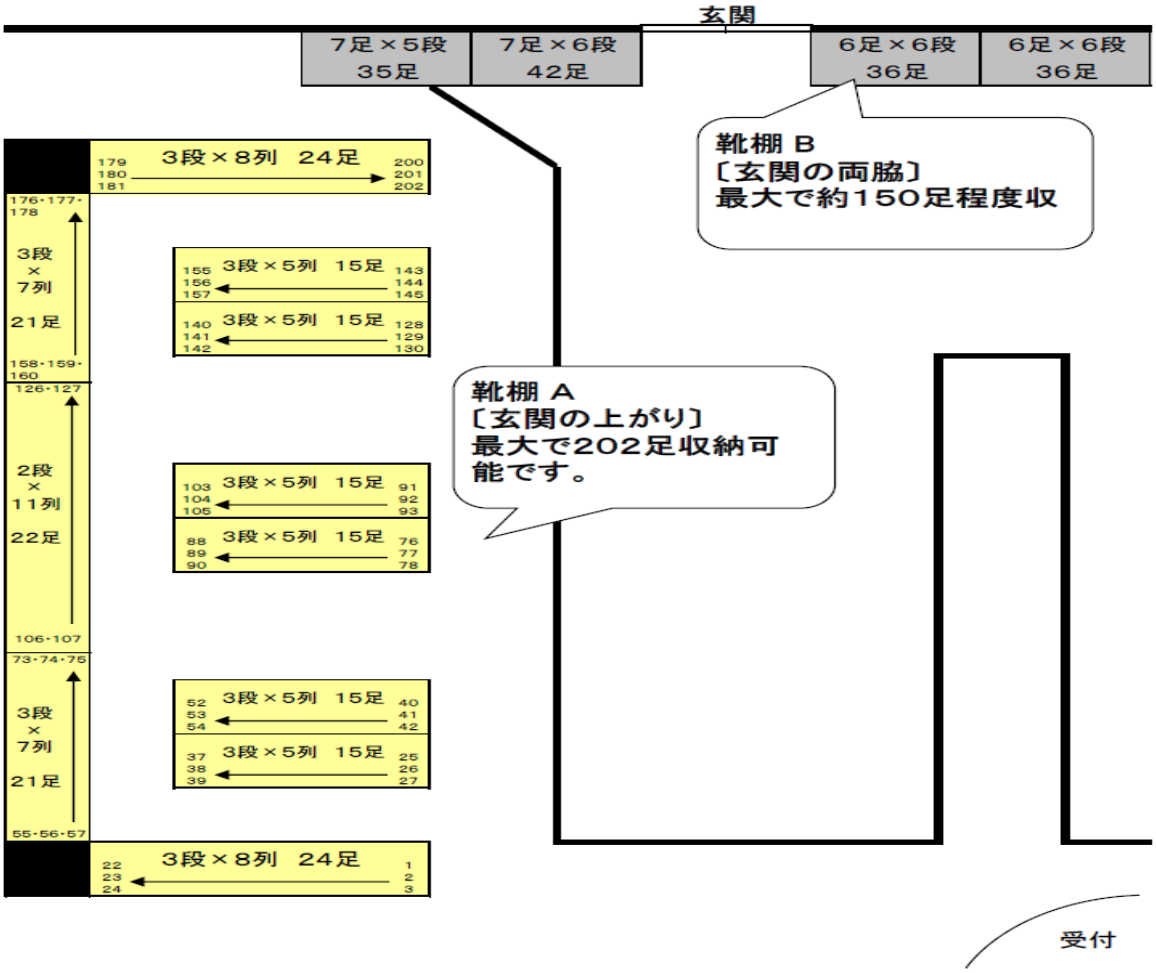
以下の時間にそって活動してください。プログラムの都合上等で時間を変更したい場合は事前にご相談ください。

食事	朝食	7:00 ～ 8:00	左記の時間内に食事をとる
	昼食	12:00 ～ 13:00	
	夕食	17:30 ～ 18:30	
入　所		10:00 ～	入室は10:30以降
入　浴		20:00 ～ 21:45	21:45で昇温ポンプが停止
消　灯		22:00	常夜灯・室内灯を除く館内の照明が消灯
起　床		6:30 ～	早く目が覚めた方は室内で静かに
退　室		～ 8:40	片付け・清掃を終え、退室
部屋点検		8:40 ～	各部屋の責任者とセンター職員で最終点検

※市立以外の学校が部屋点検後9:00以降に施設を使用する場合日帰り料金がかかります。
※退所時間は14:00を基本とします。

（2）靴棚配置図

靴棚は、「靴棚A」を使います。学校が重なった場合は、同一週の2番目と4番目の学校が「靴棚B」を使います。



（3）食事について

① 初日の昼食は、弁当を持参してください。食堂は、前日から利用している学校を優先するため、利用することはできません。

② 食堂は222人（常設6人×29卓、増設6人×8卓）が一度に利用できます。

③ 利用するテーブルの人数を割振りし、「食堂テーブル座席票」を提出してください。

④ ごみ袋（70L以上）とテーブル拭きは持参してください。

⑤ 食物アレルギーのため、基本食が食べられない場合、下記の対応でお願いします。

- 食事提供業者からの可能な範囲での代替食の提供
- 自宅からの持参
- 補食や飲料の検討

準備（食事係）	・ トレーにおかずや箸、手拭きなどを置き、テーブルに配膳する。 ・ ご飯を茶碗に盛り付け、テーブルに配膳する。 ・ 味噌汁の容器に電気ポットのお湯を入れて、テーブルに配膳する。 ・ 準備が整ったら、全員集合し食事を始める。
片付け	・ テーブルごとにおかずの容器やご飯茶碗などを重ねる。 ・ 残菜は1つの容器にまとめる。 ・ 食器類は、決められた場所に返却する。 ・ 燃えるごみや残菜、飲み残しは、決められた場所に捨てる。 ・ テーブルの上をきれいに拭き、床にごみが落ちていないか確認する。 ・ いすやテーブルを整頓する。 ・ 研修最終日は、トレーを決められた場所に返却し、使用したテーブルの椅子を全て上げる。

（4）入浴について

① 浴場は、男女とも一度に約30名の入浴が可能です。（シャワー各15台、脱衣棚各42か所）

② リンスインシャンプー、ボディシャンプー、ドライヤー（男女各3台）を用意しています。

③ 子どもたちに入浴時のマナーを指導し、片付けや忘れ物などの確認をしてください。

④ 「けやき」「さつき」の部屋には、ユニットバスがあります。

⑤ 早い時間の入浴を希望する場合は、事前に連絡してください。

（5）ごみの処理について

「まんたらめ」では、宿泊室以外の場所にごみ箱を設置していません。活動中に出たごみは、持参したごみ袋に分別して回収してください。ごみ袋を処理する場合は、ごみ置き場に出してください。ごみ袋の種類は、以下を参考にしてください。

① 家庭ごみ
…半透明または透明な袋

② ペットボトル
…透明な袋　キャップは家庭ごみへ

③ 缶類
…透明な袋

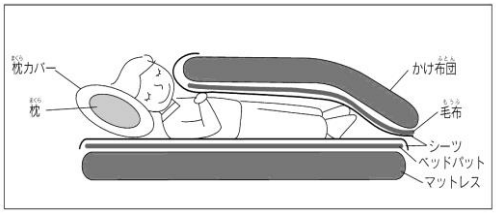
④ 段ボール
…紙ひもで縛る　紙ひも持参

⑤ 生ごみ
…半透明または透明な袋を二重に重ね、生ごみ置き場へ

（6）寝具について

ベッド（ふとん）メイキング

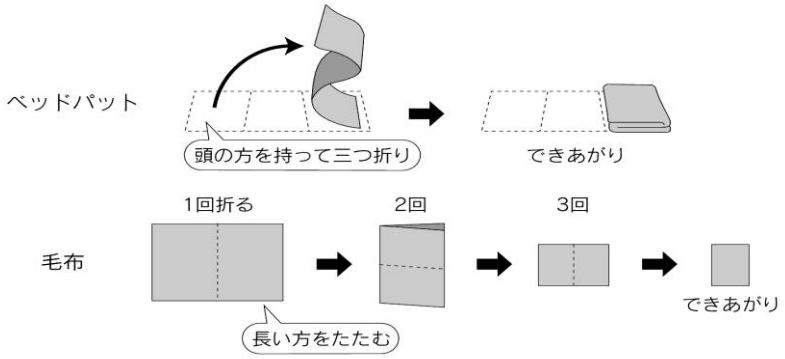
① シーツとまくらカバーをリネン室前から持ってくる。（シーツ1人2枚、まくらカバー1人1枚）
② ベッドパット（畳の場合は敷き布団）を敷く。
③ シーツを2枚重ねて敷く。
④ 毛布をかける。
⑤ 上側のシーツを毛布上に折り返す。
⑥ まくらをまくらカバーに入れる。
※シーツとシーツの間に入って寝る。
※必要な場合は、押し入れからかけ布団を出してかける。
※当センターの枕は、そば殻不使用



寝具の片付け方

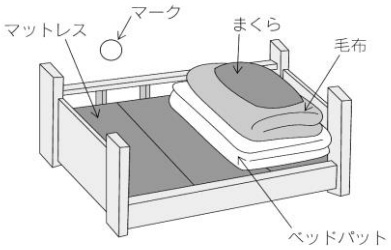
① シーツ・まくらカバーを返却袋に入れる。
② ベッドパッドをたたむ。（三つ折り）
③ 毛布をたたむ。（表を外側にして3回折る）
④ ベッドパッド・毛布・まくらの順に、向きをそろえて重ねる。
※畳で寝た場合は、押し入れから出したものを畳の上に種類ごとに整とんして置く。

たたみ方



置き方

※寝具は壁の「○マーク」のない方(足元)に重ねる。
※毛布は折り曲げた面を通路側に向けて置く。



次の利用者が気持ちよく利用できるようにお願いします。

（7）清掃・退室

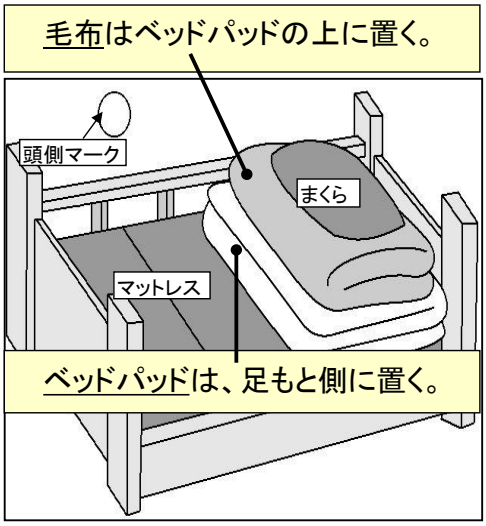
① 清掃ロッカーから「ほうき」「ちりとり」を持ってきて掃きそうじをする。
（各部屋2セット使用可）
② ごみ箱のごみを、シーツ置き場の大きなごみ箱に捨てる。
③ ごみ箱と清掃用具をもとの場所へ返す。
④ 「宿泊室点検票」にしたがって部屋の点検をする。（提出不要）
※点検の流れ　児童・生徒 → 引率者 → 各部屋の責任者・センター職員（8：40～）
※引率者の部屋を点検する際も利用者の立会いが必要

宿泊室点検票（　　）号室　（　　）

〔点検の流れ〕　起床～8：40　清掃、片付け
↓
児童・生徒の自主点検
↓
引率者の点検
↓
8：40～8：55　部屋責任者とセンター職員の最終点検

ベッド（右図）

項　　目	室長・係	先生
①ベッドパッドはきちんとたたまれているか（三つ折り、表と裏を確認する）		
②毛布はきちんとたたまれているか（表を外側にして、長い方を3回折る）		
③寝具類は足もと側に整とんされているか		



ふとん類（右図）

項　　目	室長・係	先生
①寝具類は畳の上に整とんされているか		

部屋（右図）

項　　目	室長・係	先生
①ごみは落ちていないか		
②ごみ箱の中は空になっているか		
③カーテンはタッセルでまとめられているか		
④ハンガーが整とんされているか		
⑤窓や戸のカギは閉まっているか		
⑥電気・エアコンのスイッチはOFFか		
⑦忘れ物はないか		

（8）服装・携行品

服装・携行品は以下を参考にしてください。

児童・生徒	○服装 活動に適した衣類（長袖シャツ・ズボン〈外傷・虫さされ・寒さ防止など〉） 帽子　軍手　防寒着　活動に適した外履き（活動しやすいズック、長靴など） ○携行品 内履き　洗面用具　タオル　筆記用具　着替え　常備薬 等

（9）その他

① 複数の学校が同時に研修を行う場合は、活動場所や活動時間について事前に調整します。ただし、原則として午前中の活動場所の使用は、先に入所していた学校を優先します。

② 放送設備は事務室前と炊事棟Aにあります。使用の際は、センター職員から使用方法の説明を受けてから使用してください。

③ すり傷や切り傷程度のけがは医務室で応急手当ができますが、専門的な治療はできませんので、救急医薬品を準備してください。緊急用車両の準備もお願いします。
救急車要請も想定した緊急対応計画を立ててください。

④ 館内は携帯電話の電波が届きにくい状態になっています。外部との連絡には、公衆電話を利用できます。（テレホンカード使用不可）

⑤ 当センターではエントランスロビー付近でWi-Fiを利用することができます。

緊急時の連絡について

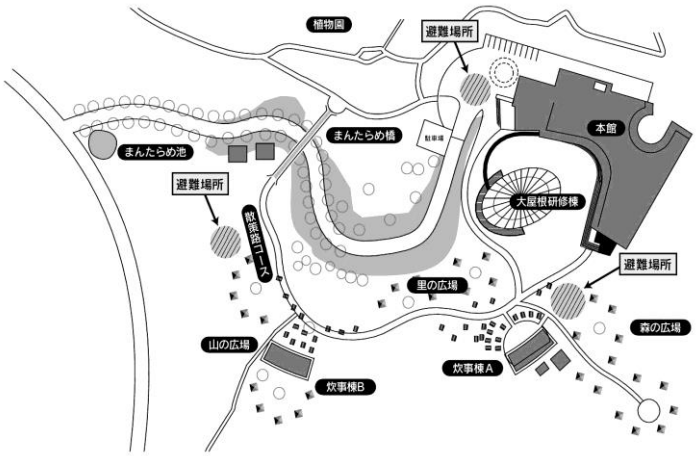
① 急病、事故、火災などが発生した際は、すみやかに処置をするとともに、事務室へ連絡してください。

② 夜間は、警備員室に連絡してください。

③ 野外活動中の緊急事態については、無線機等で「まんたらめ事務室」へ連絡し、状況を報告して対処方法を相談してください。

災害時の避難場所

災害および火災発生時は、緊急放送により連絡します。近くの非常口から、あわてず落ち着いて避難してください。



5 キャンプ場の利用について

（1）テントサイトについて

① 開設期間　　5月～9月
② 利用可能人数　　185人（追加テント8張使用時　最大利用可能人数225人）
③ 各テントサイトについて（キャンプ場配置図参照）

テントサイト	テント数	定員	数	備考
森の広場	砂地サイト用テント	5	10張	常設
	本部用テント	5	2張	常設
	追加用テント	5	8張	野外営火場に設営
里の広場	砂地サイト用テント	5	10張	常設
山の広場	砂地サイト用テント	5	15張	常設

（2）利用の実際

① テント・シュラフの準備
・キャンプ場の利用の仕方、シュラフの使い方について、オリエンテーションを受ける。
・シュラフにシーツを取り付ける。
・テントマット・シュラフをテントに運ぶ。

② テントの使用
・テント内は土足、飲食禁止。
・テントの近くでは火気厳禁。

③ 片付け・清掃（～8：40）
・シーツは館内シーツ入れに入れる。
・シュラフは裏返しにして、館内2F手すりに干す。（食堂前には干さない。）
・テントマットは2Fデッキ（雨天時は館内）に干す。
・荷物を搬出する。
・テント内を掃き掃除する。（用具貸出可）
・テントの窓・出入口のファスナーをすべて閉める。
※引率者は各テントの点検をしてください。
・各テントの責任者とセンター職員で最終点検をする。（8：40～）

④ シュラフ・テントマットの返却
・退所前にシュラフを丸め、テントマットをたたみ、元の場所に返却する。

⑤ その他
・市立以外の学校が入浴を希望する場合は、1人150円かかります。
・ごみは出た都度ごみ置き場に置いてください。（カラスやクマ侵入防止のためです。）

（3）貸出し用具（テント泊）

追加用テント	8張	
テントマット	50枚	砂地用テント・本部テント・追加テント用
シュラフ	225個	筒型シュラフシーツを使用
シュラフシーツ	529枚	
ランタン	23個	1台につき単一電池4本持参

Ⅱ　活動計画について

1 計画作成にあたって

まんたらめでの宿泊研修は、学校の自主的な計画・運営を基本としています。センター職員はそのサポートに努めます。そこで宿泊研修にあたり、次のことに留意してください。

① 「何のためにその活動をするのか」というねらいを明確にする。
② 体験活動は時間通りに進まないことが多いため、時間に余裕をもたせた計画を立てる。
③ 安全対策は万全にする。
④ 自然環境や気象条件をしっかりと把握する。
⑤ 下見を必ず行い、危険箇所や引率者の配置などを確認する。
⑥ 引率者の役割分担や救急体制を明確にする。

2 研修当日の補助について

① 各学校の活動プログラムに合わせて、貸出用具を準備します。
② 児童生徒の引率や直接の指導などは行いません。
③ 特殊な作業（焼き板工作等）についての説明や危険を伴う作業（焼き印等）についてセンター職員が補助します。

3 主な活動プログラム例

（　）内：「講」は外部講師依頼可能、「周」は周辺施設利用

（1）自然の中でたくましい心と体をつくる

活　動	活動場所	センターで用意できるもの	持参するもの	備　　考
オーパストップ登山	まんたらめ～スキー場頂上	無線機・熊よけ鈴	軍手・タオル・水筒・長袖・長ズボン・ズック（長靴）	・登山道片道約45分
オーパスK登山	まんたらめ～クワッドリフト降り場	無線機・熊よけ鈴	軍手・タオル・水筒・長袖・長ズボン・ズック（長靴）	・登山道片道約30分
妙見山登山	まんたらめ～花公園～妙見山頂上	無線機・熊よけ鈴	軍手・タオル・水筒・長袖・長ズボン・ズック（長靴）	・花公園まで片道30分 ・花公園にトイレあり ・登山道片道約30分
太平山前岳登山	・(a)まんたらめ～スキー場頂上～前岳（女人堂） ・(b)金山滝口～前岳（女人堂）	無線機・熊よけ鈴	軍手・タオル・水筒・長袖・長ズボン・登山に適した靴・食料	・(a)登山道登り約2時間 ・(b)登山道登り約2時間半 ・下り1時間半～2時間
太平山リゾート公園ハイキング	太平山リゾート公園	無線機・熊よけ鈴	軍手・タオル・水筒・長袖・長ズボン・ズック（長靴）	・コース設定が必要
オーパスゲレンデハイキング	オーパス	無線機・熊よけ鈴	軍手・タオル・水筒・長袖・長ズボン・ズック（長靴）	・コース設定が必要 ・オーパスプラザまで片道30分
スキー（講・周）	オーパス	無線機・ゼッケン	ウェア・スキーセット・手袋・帽子・ゴーグル・昼食	・団体使用申込み、レンタル申込み等の手続きが必要 ・指導員仲介可
スノーボード（講・周）	オーパス	無線機・ゼッケン	ウェア・ボードセット・手袋・ヘルメット・ゴーグル・昼食	・団体使用申込み、レンタル申込み等の手続きが必要 ・指導員仲介可
スノーハイキング	まんたらめ周辺植物園、他	ストックスノーシュー	防寒着・防寒靴・手袋・帽子	・コース設定が必要

（2）仲間と協力し絆を強める

〔防〕防災教育と関連付けられるプログラム

活　動	活動場所	センターで用意できるもの	持参するもの	備　　考
〔防〕 テント泊 （館内テント泊）	テントサイト （研修スペース）	テント・テントマット・シュラフ・シュラフシーツ（手引き参照）	懐中電灯	
〔防〕 野外炊飯 （カレー 他）	炊事棟 大屋根広場	炊飯用具 （手引き参照）	ごみ袋・ふきん・カセットボンベ・炭・はし・排水ロネットなど	・用具返却時職員点検 ・食材持参
キャンプファイヤー	大屋根広場	音響機器・ランタン・消火用バケツ	薪・トーチ棒・CD・灯油・軍手・着火用ライター・衣装等	
キャンドルファイヤー	研修スペース	音響機器・燭台（大小）・ブルーシート	ろうそく1.5号・CD・着火用ライター・衣装等	・館内の水銀灯を消すときは注意が必要（再点灯まで20分）
ウォークラリー	リゾート公園	無線機・バインダー	筆記用具・時計・マップ	・コース設定と問題作成が必要
オリエンテーリング	ピクニックの森・花公園・植物園など	無線機・ポスト・パンチ・バインダー	筆記用具・時計・マップ	・コース設定、ポストの設置が必要
樹木 オリエンテーリング	まんたらめ敷地内	マップ・バインダー・植物図鑑	筆記用具・時計	
館内ウォークラリー	館内	バインダー・積み木・輪投げ・剥製	筆記用具・時計・マップ	・コース、問題の設定が必要
バウムクーヘン作り	大屋根広場 炊事棟	生地づくり用具・竹・包丁・ドラム缶コンロ	材料・炭・軍手・ごみ袋・ふきん・アルミホイル・紙皿	・用具返却時所員点検 ・食材持参
スノーキャンドル	まんたらめ敷地内	バケツ・移植べら	ティーキャンドル・着火用ライター	
雪像作り	まんたらめ敷地内	シャベル他	防寒着・防寒靴・手袋・帽子	・山の広場
雪上 レクリエーション	まんたらめ敷地内	三角コーン他	防寒着・防寒靴・手袋・帽子	・山の広場
館内プロジェクト アドベンチャー	研修スペース	竹パイプ・ビー玉・バケツ・シーツ・ロープ・ぬいぐるみ・熊鈴	ストップウオッチ	

（3）自然とのふれあいを深める

活　動	活動場所	センターで用意できるもの	持参するもの	備　　考
自然観察（講）	植物園・登山道	無線機・虫めがね・双眼鏡	筆記用具	
ネイチャーゲーム（講）	まんたらめ敷地内・周辺	バインダー・ロープフラフープ等	内容による（外部講師を依頼した場合は要相談）	
フィールドビンゴ	まんたらめ敷地内	無線機・バインダー	筆記用具 ビンゴカード（タブレット）	・問題作成が必要
星空観察	まんたらめ玄関前	天体望遠鏡・星座早見板	なし	
ナイトハイク	まんたらめ敷地内・周辺	無線機・ランタン	懐中電灯等	・コース設定が必要

（4）自然素材を使った創作を楽しむ

活　動	活動場所	センターで用意できるもの	持参するもの	備　　考
焼き板工作	大屋根広場・炊事棟	バーナーヘッド・のこぎり・電動ドリル・焼き印・グルーガン	ごみ袋・板・軍手・カセットボンベ・ホットボンド・延長コード等	・平板1枚260円で仲介可（幅10cm×長さ180cm）
丸太・小枝のアート	大屋根広場・炊事棟・ワークショップ	のこぎり・電動ドリル・万力・グルーガン・枝	ごみ袋・軍手・彫刻刀・紙ヤスリ・ホットボンド・目玉シール等	
木の葉・木の実のアート	大屋根広場・炊事棟・ワークショップ・研修スペース	はさみ	ごみ袋・新聞紙・台紙・のり・ボンド等	
小枝はんこ作り	大屋根広場・ワークショップ	小枝・万力・朱肉・グルーガン	ごみ袋・ゴム板・彫刻刀・筆記用具・紙ヤスリ・ホットボンド	
木の葉のしおり作り	ワークショップ・図書スペース	ラミネーター・はさみ・穴あけパンチ	ごみ袋・ラミネートフィルム・和紙・リボンテープ・など	
草木染め（講）	ワークショップ	カセットコンロ・なべ・ボウル・バケツ	講師に相談 ごみ袋・雑巾・新聞紙	
小枝スプーン・フォーク作り	大屋根広場	電動ドリル・のこぎり・万力・グルーガン・枝	彫刻刀・紙やすり・スプレーニス・ホットボンド・スプーン・フォーク先	・スプーン・フォーク先を業者に注文必要（各135円＋送料） ・20本以上から受付 ・数量により価格変化（要確認）

（5）その他の活動

活　動	活動場所	センターで 用意できるもの	持参するもの	備　　考
トーチ棒づくり	大屋根広場	かなづち・ペンチ	軍手・棒・布（綿）・針金・釘	
銀粘土細工 （講）	ワークショップ	電気釜	外部講師に相談 ごみ袋	
七宝焼き （講）	ワークショップ	電気釜	外部講師に相談 ごみ袋	
エコバッグステンシル （講）	ワークショップ 図書スペース	バケツ・はさみ	外部講師に相談 ごみ袋	
フェルトメイキング （講）	ワークショップ 図書スペース	バケツ	外部講師に相談 ごみ袋	
エコキャンドル （講）	ワークショップ	カセットコンロ	外部講師に相談 カセットボンベ	
エコタイルモザイク （講）	ワークショップ	ペンチ	外部講師に相談 ごみ袋	
グラウンドゴルフ （周）	グラウンドゴルフ場		動きやすい服、靴	・要予約（無料）
水泳 （周）	クアドーム　ザ・ブーン		水着、他	・要予約
テニス （周）	テニスコート	硬式用テニスラケット	運動しやすい服、テニスシューズ、ボール	・要予約(無料) ・コート7面
タグラグビー （周・講）	ピクニック広場	ボール・タグ・ゼッケン	運動しやすい服、靴	・コート設営補助可 ・レフリー講師派遣要相談
ピザ作り	食堂・炊事棟 ワークショップ	ボウル・ピザ皿・ピザ返し・包丁・まな板	ごみ袋・ふきん・紙皿・炭・着火剤・洗剤	・用具返却時職員点検 ・食材持参 ・50人まで可能
きりたんぽ作り	食堂・炊事棟 ワークショップ 大屋根広場	杉棒・ボウル・バーベキューコンロ	ごみ袋・ふきん・ビニル袋・炭・網・着火剤	・用具返却時職員点検 ・食材持参 ・60人まで可能
もちつき	ワークショップ 大屋根広場	うす・きね・トレイ・鍋 電動もちつき機	ごみ袋・ふきん・はし・紙皿・もち米・きな粉・あんこ	
焼きいも作り	炊事棟 営火場	ドラム缶コンロ	サツマイモ・ごみ袋・新聞紙・アルミホイル・炭	
そり遊び	オーパス	そり	防寒着・防寒靴・手袋・帽子	
座禅体験 （講）	研修スペース 館内			

4 貸出用具一覧

(1)研修全般関係 ※設備・備品は含まれていません

No	用具	数量	備考
1	CD・ラジカセ	1	敷地外利用は 単二電池6個持参
2	拡声器	2	1台につき 単三電池6個持参
3	無線機	11	
4	リヤカー	3	
5	台車	3	
6	車いす	3	
7	プロジェクター	2	
8	スクリーン	2	移動式1
9	OHP	1	
10	スライド映写機	1	
11	教材提示装置	1	

No	用具	数量	備考
12	ホワイトボード	4	
13	CD・DVDソフト	各種	種類は問合せ
14	キャンドルファイヤー用 燭台(大)	1	
15	キャンドルファイヤー用 手持ち燭台	213	ろうそく持参 ろうそく1.5号
16	パイプいす	22	食堂用
17	いす	185	折りたたみ不可
18	幼児用いす	5	
19	踏み台	18	
20	座卓(台形型)	46	1階25　2階21
21	補助テーブル	10	食堂

(2)野外炊飯・テント関係 ※設備・備品は含まれていません

No	設備・用具等	数量	備考
1	包丁	99	
2	まな板	110	
3	おたま	90	
4	ボウル	95	
5	ざる	128	
6	ピーラー	117	
7	しゃもじ	63	
8	フライ返し	58	
9	菜箸	100	カレー調理要相談
10	トング	65	
11	ステンレス深鍋大	51	10人程度まで
12	ステンレス深鍋中	49	6人程度まで
13	カセットコンロ	52	ボンベ持参
14	飯ごう(5合炊き)	48	6合まで炊飯可能
15	飯ごう用ゲージ	8	
16	特大ボウル	5	45cm(3) 40cm(2)
17	きりたんぽ作り杉棒	370	短尺50本有り

No	設備・用具等	数量	備考
18	七輪	17	炭と着火剤を持参
19	バーベキューコンロ	10	炭と着火剤を持参 網焼き専用
20	かまど用特大鍋	5	30人用 ×2 50人用 ×3
21	つば釜	5	米4升炊き
22	鉄板	8	1×1m　2枚 44×60cm　6枚
23	ドラム缶コンロ	6	炭と着火剤を持参 大2　小4
24	フライパン	109	小53、大50 ﾃﾌﾛﾝ加工6
25	穴あきお玉	14	
26	やかん	8	
27	追加テント	8	5人用ドーム
28	シュラフ(封筒型)	225	
29	テントマット	50	
30	ランタン	23	1台につき 単一電池4個持参
31	そば打ちセット	20	麺板・麺棒・包丁
32	ピザ皿	80	大30　小50
33	ピザ返し	10	

(3)工作用具関係　※設備・備品は含まれていません

No	用具	数量	備考
1	かなづち	55	
2	ペンチ	56	
3	ミニペンチ	46	
4	両刃のこぎり	48	
5	丸太用のこぎり	29	
6	竹引きのこぎり	45	
7	はさみ	72	紙切り用
8	グルーガン	63	ホットボンド持参
9	バーナーヘッド	10	ガスボンベ持参
10	ラミネーター	8	フィルム持参 A4(4) はがき(4)
11	電動ドリル	3	
12	曲金定規	56	
13	ワイヤブラシ	41	大37　小4
14	彫刻刀セット（5本組）	52	
15	カッターナイフ	80	大26　小54
16	切り出し小刀	84	
17	カッターマット	55	大9　小46
18	ラジオペンチ	51	
19	剪定ばさみ	11	
20	ぶどうばさみ	7	
21	定規	100	長さ15cm
22	ホチキス	18	針持参
23	きり	48	
24	ニッパー	51	
25	アイロン	10	
26	メジャー（2m）	15	
27	ピンセット	78	
28	ドライバーセット（5本組）	65	
29	かんな	5	
30	万力	8	大屋根広場の 作業台に据付
31	鉄工ヤスリ	54	
32	極細丸刃	19	はんこ作り用
33	電動糸のこ盤	4	替え刃持参
34	枝切りばさみ	8	
35	果物ばさみ	24	
36	角いす	28	

(4)自然観察・天体関係　※設備・備品は含まれていません

No	用具	数量	備考
1	携帯顕微鏡	20	
2	デジタル顕微鏡	1	
3	スポッティングスコープ	2	野鳥観察等
4	双眼鏡	31	
5	ルーペ	29	
6	レンズ付き観察ケース	51	
7	飼育ケース	6	中2　小4
8	虫かご	4	
9	虫取り網	8	
10	水中生物用網	9	
11	火おこし	7	
12	星座早見板	58	
13	天体望遠鏡（赤道儀）	4	
14	天体望遠鏡（手動式）	4	
15	虫めがね	96	
16	懐中電灯	23	1台につき 単二電池2個持参
17	館内泊用テント	12	
18	移植ベラ	73	
19	プラスチックバケツ	32	

(5)スポーツ・ゲーム（野外活動） ※設備・備品は含まれていません

No	用具	数量	備考
1	熊よけ鈴	100	登山用
2	オリエンテーリングセット	1	ポスト・パンチ10個
3	コンパス	19	オリエンテーリング用
4	バインダー	52	オリエンテーリング用
5	タグラグビーセット	60	タグ・ボール
6	硬式テニスラケット	40	ボール持参
7	フライングディスク	56	ソフト20・ハード36
8	フライングディスクゴール	3	
9	竹馬	12	
10	電子ホイッスル	10	1台につき 単四電池2個持参
11	三角コーン	20	
12	長ぐつ	70	サイズ 23cm 37足 24cm 30足 26cm 2足 27cm 1足 28cm 1足

(6)スポーツ・ゲーム（屋内活動） ※設備・備品は含まれていません

No	用具	数量	備考
1	綱	1	綱引き用
2	長縄とび	3	
3	フラフープ	20	
4	バレーボール用支柱	2	バドミントン にも使用可
5	ソフトバレーボール	4	
6	ビニルバレーボール	5	
7	バドミントンセット	19	ラケット・シャトル
8	ソフトサッカーボール	5	
9	卓球台	2	
10	卓球ラケット	19	ラケット・ボール
11	キンボール	1	
12	バスケットボール	4	
13	旗立てポール	30	
14	得点板	2	
15	コーン	53	大13 小40
16	けん玉	45	
17	ミニボウリングセット	1	
18	輪投げセット	1	
19	だるま落とし	12	
20	おはじき	多数	
21	ビー玉・めんこ・お手玉	多数	
22	こま	20	
23	将棋・碁	各3	
24	PAセット	各1	フライングチキン 竹のパイプライン

(7)スポーツ・ゲーム（冬季活動） ※設備・備品は含まれていません

No	用具	数量	備考
1	スノーシュー	132	大人用 82 子供用 50
2	ストック	60	大人用 33組 子供用 27組
3	ゼッケン	300	6色×50枚 （黄、橙、青、緑、白、桃）
4	そり	51	
5	そり（ちりとり型）	10	
6	竹製かんじき	47	
7	アルミ製かんじき	49	

5 外部講師の依頼について

（1）依頼にあたって

① 依頼する場合は早めに（1か月前程度までに）まんたらめに連絡してください。
② 講師の都合により、依頼を受けることができない場合があります。
③ 班ごとにローテーションで指導を受けるのは、講師の負担が大きくなるためご遠慮ください。
④ 天候によって内容が変更になる活動プログラムは、講師と十分な打合せを行ってください。
（自然観察、ネイチャーゲーム、タグラグビーなど）

（2）依頼できるプログラム

（材料費は一人あたり）

活動プログラム		材料費等	人　数	備　　考
創作活動	草　木　染　め	600円～	20人程度	・材料費はハンカチ代、染め材料は講師と相談 ・人数超過のときは講師数を増やして対応
	エコバッグステンシル	500円～	40人程度	・材料費にバッグ代を含む
	エコキャンドル	500円～	30人程度	・廃ろうそくを利用して作品をつくる ・IH機器を使う場合は講師を増やして対応
	エコタイルモザイク	500円～	40人程度	・タイルを割って貼り付けていく
	フェルトメイキング	300円～	20人程度	・羊毛を使って作品をつくる
	銀　粘　土　細　工	1,800円～	10人程度	・アクセサリー（ネックレスやキーホルダー）ができる
	七　宝　焼　き	600円～	20人以内	・キーホルダーやストラップなど
野外活動	自　然　観　察	謝礼のみ	指導員数による	・指導員一人につき10人以内(冬季は7～8人) ・実施場所は要相談、冬季も対応可
	ネイチャーゲーム	※500円	要　相　談	・人数、内容に合わせて打合せ　※保険料含む
	タグラグビー	なし	指導員数による	・人数、内容に合わせて打合せ
	スキー・スノーボード	※謝礼他	指導員数による	・スキー　　：半日3,000円　一日　5,000円 ・スノーボード　：半日5,000円　一日10,000円 ※R7．9．1現在の料金です。 R8年度は変わる場合があります。
館内活動	座　禅　体　験	3,000円 （お布施として）	要相談	・当センター研修スペースにて活動 ・法要等により直前キャンセル有り

（3）依頼の手順につい

① 1か月前をめどに、まんたらめに講師依頼をする。（日時、参加人数連絡）
② センター職員が講師に都合を打診し、その結果を学校に連絡する。（講師の連絡先含む）
③ 詳細について、学校から直接講師に連絡し打合せをする。
〔打合せ内容〕
・実施日時　・使用場所　・参加者の人数　・講師の人数　・準備する物　・材料費

（4）当日の対応につい

① 講師への対応は学校で行う。
② プログラム実施前に講師と打合せをする。（進め方、場所の確認、用具等の準備）
③ 謝礼や材料費を支払う。

（5）講師謝礼について

講師一人につき　半日3,000円、一日5,000円（交通費込み）
① 材料費がかかる場合は別途支払いになります。
② 参加人数が多く講師の数が増える場合、人数分の講師謝礼が必要です。

6 活動施設の概要

施設名	施設の概要	設備・備品
研修スペース	館内でもっとも広いホールです。オリエンテーションを行う場所です。入・退所式をはじめ、キャンドルサービス、ゲーム、レクリエーションに利用できます。	・音響機器（CD・ワイヤレスマイク） ・大型スクリーン　・ホワイトボード ・プロジェクター　・グランドピアノ ・校旗掲揚板　・横断幕掲示板（95cm×360cm）
図書スペース	図鑑から物語まで、さまざまな本がそろっています。木の葉のしおり作りやエコバッグステンシルなどの作業もできます。	・6人掛けテーブル6台 ・図書各種 ・大型テレビ
ワークショップ（60人収容）	草木染め、小枝はんこ作りなどの作業のほか、雨天時の炊飯活動でも利用できます。作業をする場合は定員50名程度です。	・電気炉3台　・電子レンジ1台 ・ホワイトボード　・流し（蛇口12個） ・作業台20台　・丸いす62脚
食堂	174人が一斉に食事できる座席を確保しています。追加テーブル・いすを使うと最大222人まで対応可能です。	・常設6人掛けテーブル29台 ・追加用6人掛けテーブル8台
和室「ふじ」	少人数（20人程度）での作業や学習にも利用できます。	・たたみ部屋（20帖） ・長机（座卓）有り
大屋根広場	雨天でもキャンプファイヤーができる屋外広場です。トーチ棒作りや丸太切り、焼き板工作などでも利用します。また、雨天時には野外炊飯もできます。	・キャンプファイヤー用炉 ・音響機器 （CD、ワイヤレスマイク）
炊事棟（A棟・B棟）	A・B2つの炊事棟があり、野外炊飯ができます。ピザ・焼きいも作りでも利用します。	・釜場各6　・6人掛けテーブル各21台 ・流し（蛇口はA棟12個、B棟8個）
野外営火場	追加テントを設営します。	

7 周辺施設について

施設	手続き	料金	備考
クアドーム　ザ・ブーン 018－827－2301	◆直接電話予約する （月日、時間、人数等） ◆活動計画書に利用時間を明記 （○:○○～○:○○）	入館料 小学生235円 中学生310円	・利用のマナー指導を徹底すること ・まんたらめ宿泊研修のみ特別料金 ・引率、カメラマンは無料 ※学校活動における持ち込み昼食に限り館内での飲食可能
グラウンドゴルフ場 018－827－2688	◆直接電話予約する （月日、時間、人数等） ◆活動計画書に利用時間を明記 （○:○○～○:○○）	まんたらめ宿泊の秋田市内小中学生は無料	・利用のマナー指導を徹底すること ・記入用紙あり、用具レンタル可 ・引率は無料 ・利用できる人数は100人以内 ・各種大会があるときは利用不可
テニスコート 018－827－2270	◆直接電話予約する （月日、時間、人数等） ◆活動計画書に利用時間を明記 （○:○○～○:○○）	まんたらめ宿泊の秋田市内小中学生は無料	・硬式、軟式とも利用可能 ・硬式ラケットは、まんたらめで貸し出し可 ・硬式、軟式ともボールは持参 ・記入用紙あり
オーパスプラザ	◆活動計画書に利用時間を明記する （○:○○～○:○○）	無料	・トイレを使用する場合も借用時間を記入 （○:○○～○:○○オーパスプラザトイレ借用） ・ごみは持ち帰り、使った場所は現状復帰
太平山スキー場オーパス 018－827－2221	■令和8年度の利用については、11月の利用説明会で連絡します。		
ピクニックの森花公園	◆活動計画書に利用時間を明記する （○:○○～○:○○）	無料	・ピクニックの森～花公園間は園路（センターガーデン）でつながっています。 ・ピクニックの森の休憩所・トイレは使用できません。
植物園	◆活動計画書に利用時間を明記する （○:○○～○:○○）	無料	・「まんたらめ」とつながっています ・散歩や自然観察、ウオークラリーのコースに使用可
森林博物館 018－827－2322 ※休館中(R5.8～)	◆東北森林管理局秋田森林管理署に電話申し込みをする 018－882－2311	無料 休館日も学校は対応	※再開館日は未定

8 主な活動プログラムの実際

（1）野外炊飯

① 炊事棟について
・炊事棟は2棟あり、それぞれかまど・流しがついています。
・6人がけのテーブルがそれぞれ21台設置されています。
・雨天時は「大屋根広場」や「ワークショップ」を使用して炊飯を行うことができます。

② 野外炊飯のメニューについて
・食材等は各学校で準備していただきますが、ご相談ください。

③ 用具の貸出し
・用具は、炊事棟で貸出します。（用具ごとに分けてあります。）
・用具を受け取ったら、数の確認をしてください。

④ ごみの処理
・ごみ箱は、炊事棟に準備されたバケツに、ごみ袋（70L以上がよい）をかぶせて使用してください。（燃えるごみは1枚、生ごみは2枚重ね）
・ごみは分別して、本館北側にあるごみ置き場に置いてください。

動物がエサを求めて来る恐れがありますので、ごみを捨てたり、埋めたりしないでください。

⑤ 用具の後片付け・返却
・飯ごうは、中身をカラにしたら水を張り、コンロにかけて洗いやすくしてください。
・貸出した用具は、打合せで指定された場所へ返却してください。
・返却の際は、センター職員が以下のことを点検します。
□汚れをしっかりと落とし、水滴がなくなるまで拭いているか。（カビの発生防止）
□流しや地面などにごみや残菜が落ちていないか。（カラス・クマ防止）
□使った流しやテーブルは、拭かれているか。
※点検の流れ　引率者　→　センター職員

⑥ 用意するものについて

学校で用意するもの	センターで貸し出しできるもの
・カセットボンベ（切れ込み有りのもの） ・ごみ袋多数（70L以上が便利） ・キッチンペーパー　・ふきん（食器用、テーブル用） ・スポンジ・たわし類　・食器用洗剤類　・ハンドソープ ・排水口用ネット（三角コーナー用ネット、直径10㎝以上）他 【必要に応じて】 ・木炭　・着火剤　・軍手　・食器類 ・うちわ（飯ごう係の人数分） ・段ボールを縛る紙ひも　・焼き網（30cm×45cm） ・アルミシート（160cm×90cm） ・アルミホイル（厚さ40ミクロン以上）　他	・調理器具（貸し出し用具参照） ・三角コーナー ・ごみ用バケツ

（2）キャンプファイヤー

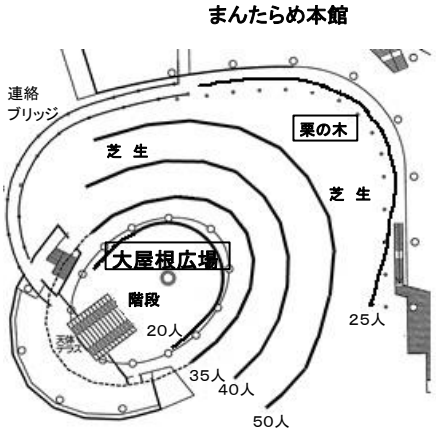
大屋根広場では、雨天時も実施できます。ただし、強風の場合は、中止または活動を制限する場合があります。

① 打合せについて
・準備の前に大屋根広場で行います。都合のよい時間を事前に連絡してください。
・会の流れ、準備、片付け、照明の操作の仕方などについて打合せをします。

② 準備について
・トーチ棒への灯油つけをしてください。
・炉の中の薪の設置はセンター職員が行います。

③ 運営、隊形について
・トーチサービスは各校で隊形を工夫してください。
・右図を最大人数と考え、安全を考慮してください。

④ 後片付けについて
・炉やトーチ棒の後片付けは翌朝に行ってください。
・トーチ棒は翌朝に炊事棟A裏に運んでください。
・炉の中の燃え残りや灰を取り除いてください。
・大屋根広場の床を掃いてください。



⑤ 用意するものについて

学校で用意するもの	センターで貸し出しできるもの
・トーチ棒角棒（1本）　190円 ・トーチ棒完成品（1本）　275円 ・薪（1カゴ）　1,500円 ※仲介可 ・灯油（トーチ棒10本で1リットル程度） ・スタンツ、衣装等で必要なもの ・ランタン用電池（1台につき単ー4本持参） ・軍手（綿） ・CD ・着火用ライター	・放送機器（マイク、CDデッキ） ・ランタン ・消火用バケツ

（3）キャンドルファイヤー

キャンドルファイヤーは研修スペースで実施します。

① 打合せについて
・準備の前に研修スペースで行います。都合のよい時間を事前に連絡してください。
・会の流れや準備、片付け、照明の操作の仕方などについて打合せをします。

② 準備について
・ブルーシートを敷き、燭台や手持ち用燭台などを準備します。

③ 運営、隊形について
・全体構成は2部構成をおすすめします。（水銀灯の再点灯に時間がかかるため）
・研修スペースでは、60人程度で1つの大きな円をつくれます。（二重円可）

④ 後片付けについて
・使用後のろうそくはろうそく入れに入れてください。
・ブルーシートに付着したろうを取り除き、掃き掃除の後に畳んでください。

⑤ 用意するものについて

学校で用意するもの	センターで貸し出しできるもの
・手持ち用ろうそく（1.5号） ・スタンツ、衣装等で必要なもの ・ランタン用電池（1台につき単ー4本持参） ・着火用ライター ・CD	・放送機器（マイク、CDラジカセ） ・ブルーシート ・大燭台用ろうそく ・ランタン ・燭台（大・小） ・手持ち用燭台

Ⅲ　その他

1 施設概要

(1) 敷地面積　40,450㎡

(2) 建物全体面積　5,337㎡
（本館・大屋根研修棟・炊事棟2棟・乾燥室・物置3棟）

(3) 宿泊定員
- 本館宿泊室（17室）　188人
- キャンプ場テント（37張）　185人

(4) その他
- 回遊散策路　1周　400m
- 駐車場　35台

2 宿泊室について

1F

部屋	11あじさい	12うつぎ	13けやき	14さつき	15しゃくなげ	16つつじ	17つばき	18ななかまど	19ふじ
定員	11名	11名	4名	4名	11名	11名	11名	11名	18名
設備等	ベッド6台（2段ベッド） たたみ8帖		ベッド4台 バス・トイレ付 バリアフリー対応		ベッド6台（2段ベッド） たたみ8帖				たたみ 20帖

2F

部屋	21うめ	22かしわ	23かえで	24くり	25さくら	26すぎ	27なら	28まつ
定員	12名	12名	12名	12名	12名	12名	12名	12名
設備等	ベッド6台（ロフト式3段ベッド） たたみ7.5帖							

3 危険な生き物について

1　クマについて

(1) 特徴
① 朝夕に行動することが多い。
② 人間との接触はできるだけ避けようとする。
③ 人間の1万倍の嗅覚
④ 不意を突かれたとき、危険を感じたときに攻撃する。

(2) 対策
① 朝夕は、野外活動を避ける。
② 人間の存在を知らせるために、クマよけ鈴や笛などを携帯して活動する。
③ 活動場所に食べ残しやジュースの空き缶などを放置しない。

(3) 遭遇したときの対処法
① 子グマを発見したときは近くに母クマがいるため、すみやかにその場を立ち去る。
② 遠くにいる場合は声をかけるなど、こちらの存在を知らせる。
③ 近くで出会った場合は、騒がずに後ずさりし、姿が見えなくなったところで逃げる。
（走るものを追いかける習性があるため、絶対に走らない。）

2　ヤマビルについて

(1) 特徴
① 枯葉の下や草の陰、石の下などの水気が多い場所に隠れている。
② 動物や人間が吐く二酸化炭素や歩く振動に反応する。
③ 気温20℃以上の湿気が多いときや雨上がりに活発になる。
④ 足元からはい上がり、皮膚の柔らかいところから吸血する。

(2) 対策
① 長ズボンをはき、ズボンの裾に靴下をかぶせてすき間をなくす。
② できるだけ長靴を履く。
③ 靴やズボンの裾に、忌避剤や食塩水をかける。
④ なるべく水気の多い場所に足を踏み入れない。
（忌避剤の代わりに木酢液や竹酢液、飽和食塩水でも効果はあり、自分で作ることが可能）

(3) 発見・付着した場合の対処法
① 万が一、ヤマビルにつかれた場合は、絶対に素手で触らないようにし、忌避剤や食塩水をかけて落とす。
② 着火用ライター等で焼却する。
③ 吸血された場合は、以下のように処置する。
・ヒルを除去し、焼却する。（卵を産まないようにするため）
・傷口から血を押し出すようにしておけば治りが早い。
・傷口を消毒し、抗ヒスタミン剤を塗布して絆創膏を貼る。

3 毒ヘビについて

(1) 特徴

① ヤマカガシ

・ 体色に変化が多い。水田や水辺に生息し、主にカエルや小魚をえさとしている。
・ １～２本の大きな歯があり、その根元から出る毒液で獲物を弱らせる。
・ 首の根元にも毒液の袋があり、そこから液を出し、敵の口や目に入って苦しめる。

② マムシ

・ 銭形模様が特徴。夜行性で、あぜ道や竹藪、沢などの湿った場所に多く生息している。
・ 頭が三角形で瞳が縦に長く、目の後ろに太い筋模様がある。
・ 小型だが、毒性が強く油断できない。かまれた場合は迅速な対応を要する。

(2) 対策

① 踏んだり刺激を与えたりすると攻撃してくるので、地面をよく見ながら歩く。
② 見つけた場合は手を出さずにやり過ごす。
特に、とぐろを巻いている状態は攻撃態勢なので、速やかにその場から離れる。
③ ヘビがいそうな場所に入るときは、長靴を履いた方がよい。

(3) 噛まれたときの対処法

① 毒を指で絞り出すと同時に、緊急用車両を要請する。
② 要請と同時に病院に連絡し、病院へ直行する。（救急車を待つより早い）

4 スズメバチについて

(1) 特徴

① 全身に黒と黄色、赤褐色の斑紋がある。
② 黒い物に反応する。
③ 肉食で、食べ残しや飲み残しに寄ってくる。
④ 攻撃性が非常に強い。

(2) 対策

① 服装や帽子は黒色のものを避ける。
② 活動場所に食べ残しや飲み残しを放置しない。
③ 見つけた場合は、刺激せずにやり過ごす。

(3) 刺されたときの対処法

① 毒をつまむように押し出し、水で洗い流すと同時に、緊急用車両を要請する。
② 要請と同時に病院に連絡し、病院へ直行する。（救急車を待つより早い）
（アナフィラキシーショックの反応は、10分後くらいに出る）

5 アブについて

(1) 特徴

① 人間や動物の皮膚から吸血する。
② 黒や紺などの暗い色に寄ってくる。
③ 3月から9月にかけて活動が活発になる。

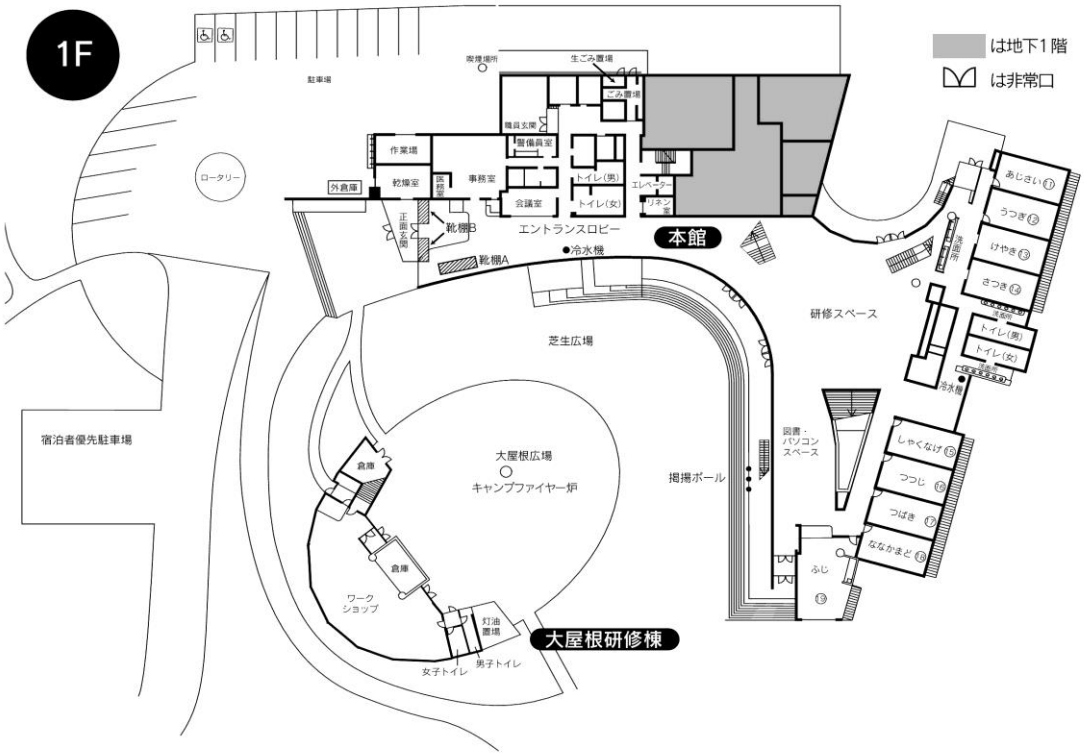
(2) 対策

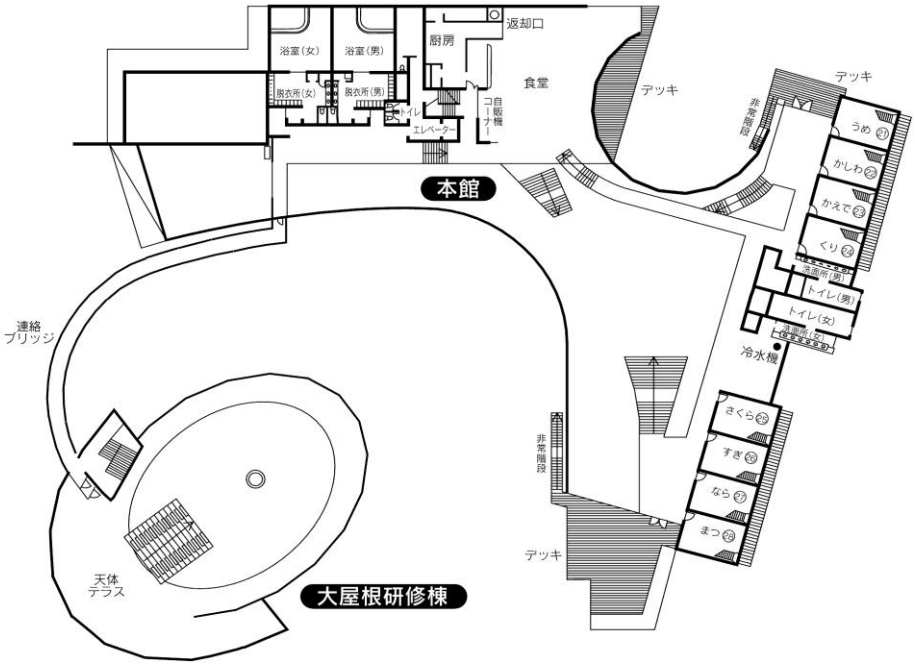
① 服装や帽子は、暗い色を避ける。
② 予防のため、虫除けスプレーを衣服に吹きかける。

(3) 刺されたときの対処法

① 毒をつまむように押し出し、水で洗い流す。
② 吸血された場合は、抗ヒスタミン剤が有効

4 施設平面図


1F
は地下1階
は非常口
駐車場
喫煙場所
生ごみ置場
ごみ置場
職員玄関
警備員室
作業場
乾燥室
事務室
会議室
トイレ(男)
トイレ(女)
エレベーター
リネン室
外倉庫
正面玄関
乾棚B
乾棚A
エントランスロビー
冷水機
本館
ロータリー
あじさい
うつぎ
けやき
さつき
洗面所
トイレ(男)
トイレ(女)
研修スペース
芝生広場
宿泊者優先駐車場
大屋根広場
キャンプファイヤー炉
倉庫
倉庫
ワークショップ
灯油置場
女子トイレ
男子トイレ
大屋根研修棟
掲揚ポール
図書・パソコンスペース
しゃくなげ
つつじ
つばき
ななかまど
ふじ


2F
返却口
浴室(女)
浴室(男)
厨房
食堂
デッキ
デッキ
脱衣所(女)
脱衣所(男)
トイレ
エレベーター
コーナー
自販機
非常階段
うめ
かしわ
かえで
くり
洗面所
トイレ(男)
トイレ(女)
冷水機
本館
連絡ブリッジ
さくら
すぎ
なら
まつ
非常階段
デッキ
天体テラス
大屋根研修棟

資料
提出書類の記入例

・　記入例を参考にして提出書類を作成してください。

・　学校内で引き継ぎされているファイルをそのまま使用せず、必ず太平山自然学習センター「まんたらめ」の HP から最新の提出書類様式をダウンロードしてお使いください。

《記入例》 ***※申請書は２枚複写になっていますのでＦＡＸでの提出はできません。***

秋田市太平山自然学習センター使用許可申請書

令和 8 年 5 月 1 日

（宛先）秋田市教育委員会

※太線枠内をご記入ください。

申請者	住 所	秋田市仁別字マンタラメ〇〇番地	連絡先	勤務TEL〇〇〇-〇〇〇〇
	団体名	秋田市立マンタラメ小学校		自宅TEL
	氏 名	校長　仁別　太郎	宿泊者	別紙名簿のとおり

職印不要

しおりで代用します。

秋田市太平山自然学習センターを使用したいので下記のとおり申請します。

記

※申請する項目に☑チェックを入れ、必要事項をご記入ください。

使用区分	☑ 宿泊　　☐ 日帰り					
使用目的	☑ センター施設を利用した体験学習　☐ その他（　　） ☑ 周辺施設を利用した体験学習					
使用日時	令和 8年 6月 1日（月）午前・午後 10時 00分から				宿　泊	1 泊 2日
	令和 8年 6月 2日（火）午前・午後 1時 30分まで				日帰り	時間
使用者数		乳幼児	小中学生	一　般	合　計	（合計の内訳） 宿泊者：104 名
	男	名	50 名	4 名	54 名	
	女	名	47 名	4 名	51 名	
	計	名	97 名	8 名	105 名	日帰り者：1 名
使用施設	☑ 宿泊室（15 室）☑ 浴室　☑ 研修スペース　☑ 食堂　☑ 大屋根広場 ☐ ワークショップ　☐ テントサイト（　張）　☑ 炊事棟（A ・ B）					

（使用料内訳）

センターで使用します。

宿泊使用	宿泊室	宿泊者	一般	2,600円×　人×　泊＝	円
			小中学生	1,300円×　人×　泊＝	円
			一般	340円×　人×　日＝	円
			小中学生	170円×　人×　日＝	円
	テントサイト	宿泊者		1,800円×　張×　泊＝	円
		日帰り者	一般	110円×　人×　日＝	円
			小中学生	50円×　人×　日＝	円
	浴　室			150円×　人×　回＝	円
日帰り使用	宿泊室（4･11･12人部屋）			200円×　室×　時間＝	円
	宿泊室（18人部屋）			300円×　時間＝	円
	研修スペース			1,200円×　時間＝	円
	食　堂			900円×　時間＝	円
	大屋根広場			1,800円×　時間＝	円
	ワークショップ			750円×　時間＝	円
	炊事棟（A・B）			450円×　棟×　時間＝	円
合　計					円

（その他の料金）
- 食事代
- シーツ
  クリーニング代

上記については、直接各業者にお支払いください。

使用料（税込）	円
消費税額（10%対象）	円
減免額	円
領収金額	円

所　長	副所長	担　当

受付欄	受付担当者	支払方法
		☐ 現金（　月　日受領） ☐ 納付書 ☐ 公金振替

記入例（館内泊） 秋田市太平山自然学習センター 活動計画書

学　校　名（ 秋田市立マンタラメ小学校 **）**

記載責任者（ 太　平　峰　子 **）**

電話番号　888 － 1000

ＦＡＸ番号　888 － 2000

申込年月日　令和　8年　5月　1日

	男	女	計	バス乗車数
児童生徒数	50	47	97	97
引率者数	4	4	8	7

1日目　6月1日（月）

時刻	活動内容	活動場所	悪天候時の活動
9:10	学校発		
9:50	花公園着		ザ・ブーン着
10:00	入所式	花公園	※登山中止の場合
10:10	登山開始	妙見山	水泳（ザ・ブーン）
10:40	登頂・記念撮影		→昼食はザ・ブーン大広間
10:55	下山開始		→入所式はまんたらめ（CD）
11:20	花公園着		
			※登山実施
11:30	昼食（弁当持参）	花公園	花公園使用できない場合
12:00	休憩・レクリエーション		→12:15～
13:00	花公園発		昼食を大屋根広場
13:30	センター着		休憩・レク（敷地内）
13:45	オリエンテーション	研修スペース	
	入室・荷物整理		
14:30	トーチ棒作り	大屋根広場	
15:30	キャンプファイヤー立ち位置確認	大屋根広場	
16:00	ベッドメイキング	宿泊室	
17:00	夕食（基本食）	食堂	
19:00	夜のつどい （　キャンプファイヤー、スタンツ　）		
20:00	入浴	浴室	
22:00	消灯	宿泊室	

2日目　6月2日（火）

時刻	活動内容	活動場所	悪天候時の活動
6:00	起床		
6:30	朝の集い	研修スペース	
7:00	朝食（基本食）	食堂	
8:40	所員と部屋点検		
9:00	自然散策	敷地内	
	焼き板工作の材料集め		
9:30	創作活動	大屋根広場	
	・焼き板工作		
12:00	昼食（基本食）	食堂	
13:00	退所式(CD)	研修スペース	
:			
13:30	センター発		

各学校の担当者	担当者名（ふりがな）
活動全般	太平峰子（たいへいみねこ）
食事・野外炊飯関係	仁別菜々子（にべつななこ）
夜のつどい	松原茂雄（まつばらしげお）
部屋清掃	堂下幸子（どうのしたさちこ）

活動全般打合せ　（　9 : 50　）
食事打合せ　（　14 : 10　）
野外炊飯打合せ　（　:　）
夜のつどい打合せ　（　18 : 30　）

部屋割

性別と人数を記入してください。（点線から館内左右に分かれています。）

2 階	21 うめ	22 かしわ	23 かえで	24 くり	25 さくら	26 すぎ	27 なら	28 まつ	記入例
定 員	12	12	12	12	12	12	12	12	
人 数		女8人	女8人	女8人	女3人〔引率〕	女8人	女8人	女7人	女10人
1 階	11 あじさい	12 うつぎ	13 けやき	14 さつき	15 しゃくなげ	16 つつじ	17 つばき	18 ななかまど	19 ふじ
定 員	11	11	4	4	11	11	11	11	18
人 数	男9人	男9人	男4人〔引率〕	保健室	男8人	男8人	男8人	男8人	

送迎バス

6 月 1 日（1日目）	〔晴れ〕学校発（9:10） → 花公園着（9:50） 〔雨天〕学校発（9:10） → ザ・ブーン着（9:50）	6 月 2 日（2日目）	センター 発 → マンタラメ小学校 着 13:30 → 14:10

記入例（テント泊） 秋田市太平山自然学習センター 活動計画書

学　校　名（ 秋田市立マンタラメ中学校 **）**

記載責任者（ 太　平　一　夫 **）**

電話番号　888 － 0001

ＦＡＸ番号　888 － 0002

申込年月日　令和　8年　4月　5日

	男	女	計	バス乗車数
児童生徒数	35	45	80	80
引率者数	2	3	5	4

1日目　5月7日（木）

時刻	活動内容	活動場所	悪天候時の活動
9:20	学校発		
9:50	センター着		
10:00	入所式（CD）	研修スペース	
10:10	オリエンテーション	研修スペース	
10:50	シュラフ作り		
11:20	テントに移動 荷物整理	テントサイト	
11:40	キャンプファイヤー 立ち位置確認	大屋根広場	
12:00	昼食（弁当持参）	大屋根広場	
13:00	コース別 創作活動		
	・木の葉のしおり作り（15人）	図書スペース	
	・小枝はんこ作り（30人）	ワークショップ	
	・小枝スプーン作り（35人）	大屋根広場	
15:00	野外炊飯	炊事棟A	
	・飯ごう炊飯		（大屋根広場）
	・カレー作り（野菜カット活動有り）		（ワークショップ）
17:00	夕食（野外カレー）	炊事棟A	（大屋根広場）
19:00	夜のつどい （　キャンプファイヤー、ダンス　）		
20:20	補食	大屋根広場	
21:30	就寝	テント	

2日目　5月8日（金）

時刻	活動内容	活動場所	悪天候時の活動
6:30	起床 シュラフ・テントマット干し	回廊 大屋根広場	
7:10	朝食（基本食）	食堂	
8:40	所員とテント点検	テントサイト	
9:00	ウオークラリー（大屋根広場S・G）		プロジェクト アドベンチャー
	S⇒テニスコート⇒ピクニックの森		（研修スペース）
	⇒花公園⇒総合案内所⇒		10:00～11:30
	グラウンドゴルフ場⇒G		水泳学習
	2分おき2グループずつスタート		（ザ・ブーン）
11:45	ウオークラリー終了		
12:00	昼食（基本食）	食堂	
13:00	シュラフ・テントマット 片付け	研修スペース	
13:30	退所式（CD）	研修スペース	
13:50	センター発		

各学校の担当者	担当者名（ふりがな）
活動全般	太平一夫（たいへいかずお）
食事・野外炊飯関係	仁別花子（にべつはなこ）
夜のつどい	妙見三郎（みょうけんさぶろう）
部屋清掃	奥　岳夫（おくたけお）

活動全般打合せ　（　9 ： 50　）
食事打合せ　（　12 ： 30　）
野外炊飯打合せ　（　14 ： 30　）
夜のつどい打合せ　（　18 ： 20　）

部屋割　性別と人数を記入してください。（点線から館内左右に分かれています。）　**→テント割　別紙参照**

2 階	21 うめ	22 かしわ	23 かえで	24 くり	25 さくら	26 すぎ	27 なら	28 まつ	記入例
定員	12	12	12	12	12	12	12	12	
人数									女10人
1 階	11 あじさい	12 うつぎ	13 けやき	14 さつき	15 しゃくなげ	16 つつじ	17 つばき	18 ななかまど	19 ふじ
定員	11	11	4	4	11	11	11	11	18
人数									

送迎バス

5月7日	学校	発 →	センター	着	5月8日	センター	発 →	学校	着
（1日目）	9:20	→	9:50		（2日目）	13:50	→	14:20	

記入例（冬季活動） 秋田市太平山自然学習センター 活動計画書

学　校　名（秋田市立マンタラメ第二中学校）
記載責任者（仁　別　太　郎）
電話番号　888 － 0003
ＦＡＸ番号　888 － 0004

申込年月日　令和　8 年　12 月　24 日

	男	女	計	バス乗車数
児童生徒数	54	66	120	120
引率者数	4	4	8	6

1日目	2 月 2 日（火）		
時刻	活動内容	活動場所	悪天候時の活動
8:30	学校発		
9:30	オーパス着	玄関	入所式（研修スペース）（CD）
	・レンタル等準備	プラザ	
9:50	開講式	ゲレンデ	オリエンテーション
10:00	スキー・スノボ教室開始		
	・スキー：1～8班		10:30～
	・スノボ：9～15班		館内レク
11:45	午前の部終了		（研修スペース 他）
12:00	昼食（弁当持参）	プラザ	大屋根広場
13:00	午後の部開始		13:00～15:00
			水泳（ザ・ブーン）
14:50	スキー・スノボ教室終了		
15:00	閉講式	ゲレンデ	
	・レンタル等返却	プラザ	
15:30	オーパス　バス発		プロジェクト アドベンチャー
16:10	入所式（CD）	研修スペース	（研修スペース）
16:20	オリエンテーション	研修スペース	
17:30	夕食（基本食）	食堂	
19:00	夜のつどい　（　キャンドルファイヤー、ダンス　）		
20:00	入浴	浴室	
22:00	消灯	宿泊室	

2日目	2 月 3 日（水）		
時刻	活動内容	活動場所	悪天候時の活動
6:30	起床		
7:10	朝食（基本食）	食堂	
8:40	所員と部屋点検		
9:00	雪上レク	山の広場	創作活動（選択）
	・スノーハイキング		・小枝はんこ 50人
	・そり引き		・小枝スプーン 40人
	・雪像作り		・小枝フォーク 30人
			（ワークショップ他）
11:45	雪上レク終了		
12:00	昼食（基本食）	食堂	
13:00	退所式（CD）	研修スペース	
:			
13:30	センター発		

各学校の担当者	担当者名（ふりがな）
活動全般	仁別太郎（にべつたろう）
食事・野外炊飯関係	妙見花子（みょうけんはなこ）
夜のつどい	前 岳雄（まえたけお）
部屋清掃	奥田　健（おくだけん）

活動全般打合せ（　9 : 00　）
食事打合せ（　16 : 50　）
野外炊飯打合せ（　:　）
夜のつどい打合せ（　18 : 30　）

部屋割　性別と人数を記入してください。（点線から館内左右に分かれています。）

2 階	21 うめ	22 かしわ	23 かえで	24 くり	25 さくら	26 すぎ	27 なら	28 まつ	記入例
定員	12	12	12	12	12	12	12	12	
人数	女9人	女9人	女9人	女9人	女4人〔引率〕	女10人	女10人	女10人	女10人
1 階	11 あじさい	12 うつぎ	13 けやき	14 さつき	15 しゃくなげ	16 つつじ	17 つばき	18 ななかまど	19 ふじ
定員	11	11	4	4	11	11	11	11	18
人数	男9人	男9人	男4人〔引率〕	保健室	男9人	男9人	男9人	男9人	

送迎バス

2 月 2 日	学校	発 →	センター	着	2 月 3 日	センター	発 →	学校　着
（1日目）	8:30	→	9:00		（2日目）	13:30	→	14:00

《記入例》

秋田市太平山自然学習センター木材注文票

令和 8 年 5 月 1 日

担　当　者	太平　峰子

学　　校　　名	マンタラメ小学校
使 用 予 定 日	令和 8 年 6 月 1 日（ 月 ）

（複数日にわたる場合は、最初の日をご記入ください。）

※ 注文数と金額をご記入ください。

種　　類	単　価	注文数	金　　額
トーチ用角棒 （3cm×3cm×92ｃｍ）	190円	102　本	19,380　円
トーチ棒（完成品） （3cm×3cm×92ｃｍ）	275円	本	円
薪	1,500円	1　籠	1,500　円
平　　板 （185cm×10.5cm）	260円	17　枚	4,420　円
合　　計			25,300　円

※ 木材注文票は、秋田市太平山自然学習センター宛に提出してください。
（FAX：018-827-2173　　MAIL：ro-edoo@city.akita.lg.jp）

※ 当センターで内容を確認のうえ、木材納入業者に発注をします。

※ リゾート公園内の総合案内所で支払いをお願いします。

※ 支払い予定日と支払い方法を教えてください。

※ 領収証の形式など、要望がある場合は[備考]に書いてください。

［支払い予定日］　　６月　　１日（月）

［支払い方法］　　☑ 現金　　☐ 振込

［備考］
・領収証を、トーチ棒97本分と、トーチ棒５本分＋薪１籠分＋平板17枚分に分けてください。

《 記 入 例 》　　用具貸し出し票

提出日　令和8年 4月 20日

学 校 名	秋田市立マンタラメ中学校	担 当 者 名	太 平 一 夫

活動	使用日	設備・用具名	貸し出し数	使用場所	備 考
(例)	5月5日	包丁	20	炊事棟	A棟:10 B棟:10
野外炊飯		ステンレス深鍋中	20	炊事棟	A棟:10 B棟:10
テント泊	5月7日	テント	18	里の広場・山の広場	生徒16 引率者2
		テントマット	18	里の広場・山の広場	
		シュラフ	85	里の広場・山の広場	生徒80 引率5
		ランタン	18	里の広場・山の広場	電池持参 単一4個使用
木の葉のしおり作り	5月7日	はさみ	15	ワークショップ	
		ラミネーター	3	ワークショップ	フィルム持参
		まんたらめスタンプ	2	ワークショップ	大1 小1
		スタンプ台	2	ワークショップ	赤1 黒1
		穴あけパンチ	3	ワークショップ	
小枝はんこ作り	5月7日	両刃のこぎり	8	大屋根広場	
小枝スプーン作り		万力	8	大屋根広場	
		電動ドリル	2	大屋根広場	
		彫刻刀セット	30	大屋根広場	
		グルーガン	8	大屋根広場	グルースティック持参
野外炊飯(カレー)	5月7日	包丁	20	炊事棟A	
		まな板	20	炊事棟A	
		おたま	20	炊事棟A	
		ボウル	20	炊事棟A	
		ざる	20	炊事棟A	
		ピーラー	20	炊事棟A	
		菜箸	20	炊事棟A	
		しゃもじ	20	炊事棟A	
		飯ごう	20	炊事棟A	
		ステンレス深鍋中	20	炊事棟A	
		カセットコンロ	20	炊事棟A	カセットボンベ持参
		ドラム缶コンロ小	2	炊事棟A	木炭・着火剤持参
キャンプファイヤー	5月7日	CDラジカセ	1	大屋根広場	
		マイク	2	大屋根広場	
朝の集い	5月8日	CDラジカセ	1	大屋根広場	
ウオークラリー	5月8日	熊よけ鈴	20	花公園 他	
		無線機	5	大屋根広場	
退所式	5月8日	CDラジカセ	1	研修スペース	

◆貸し出し希望用具を貸し出し用紙に記入の上提出してください。
◆用紙が足りない場合は、コピー等をして記入してください。

《 記 入 例 》

秋田市太平山自然学習センター 食事等注文票		提出日	令和8年 4月22日
学校名	秋田市立マンタラメ中学校	担当者	仁別 花子
研修日	令和8年 5月 7日(水)～ 5月 8日(木)	利用人数	86 人

〔基本食〕

	時 間	食事場所	希望メニュー	単価	注文数		合計金額
1日目夕食	食事時間 17 時 00 分	炊事棟A	□ 弁当[基本食] ☑ 野外炊飯 下段枠※に入力		児童生徒		円
					教職員		円
					カメラマン等		円
2日目朝食	食事時間 7 時 10 分	食堂	☑ 弁当〔基本食〕	400	児童生徒	80	32,000 円
					教職員	5	2,000 円
				800	カメラマン等		円
2日目昼食	食事時間 12 時 00 分	食堂	☑ 弁当〔基本食〕	425	児童生徒	80	34,000 円
					教職員	5	2,125 円
				850	カメラマン等	1	850 円
弁 当 小計金額					児童生徒		66,000 円
					教 職 員		4,125 円
					カメラマン等		850 円

〔特別食〕

注文品	受取日時	単価	注文数		合計金額
麦茶 250ml	5 月 7 日 20 時 00 分	120	児童生徒	80	9,600 円
			教職員	5	600 円
			カメラマン等		円
マーラーカオ	5 月 7 日 20 時 00 分	140	児童生徒	80	11,200 円
			教職員	5	700 円
			カメラマン等		円
爽健美茶 600ml	5 月 8 日 7 時 10 分	180	児童生徒	80	14,400 円
			教職員	5	900 円
			カメラマン等	1	180 円
	月 日 時 分		児童生徒		円
			教職員		円
			カメラマン等		円
特別食 小計金額			児童生徒		35,200 円
			教 職 員		2,200 円
			カメラマン等		180 円

弁当・特別食 合計金額		
	児童生徒	101,200 円
	教 職 員	6,325 円
	カメラマン等	1,030 円

※〔野外炊飯〕

	時 間	食事場所	食 材	単価	注文数		小計金額
1日目夕食	食事時間 17 時 00 分	炊事棟A	☑ センター紹介 □ 学校で持参	450	児童生徒	80	36,000 円
					教職員	5	2,250 円
					カメラマン等	1	450 円
野外炊飯 合計金額							38,700 円

※注文数等に変更がでた場合は、この文書にて訂正版を提出してください。
FAX:018-827-2173 MAIL:ro-edoo@city.akita.lg.jp
※支払い方法・食物アレルギーについて、どちらかの□にチェック✓を付けてください。

［支払い方法］	☑現金 □ 振込

※ 食物アレルギーをもつ児童生徒の有無
☑ 有り→アンケートの提出をお願いします □ 無し

《 記 入 例 》

秋田市太平山自然学習センター 食堂テーブル座席票			提出日	令和８年　４月２２日	
学校名	秋田市立マンタラメ中学校		担当者	仁別　花子	
令和　年　月　日（　）	夕食	人利用	追加テーブル	有・無	
令和８年　５月　８日（木）	朝食	85　人利用	追加テーブル	有・(無)	
令和８年　５月　８日（木）	昼食	86　人利用	追加テーブル	有・(無)	

※各テーブルの利用人数を記入して提出をお願いします。
直接テーブルに人数をお書きください。（６人以内）

→　常設テーブル：29脚×6人＝174人分

→　追加テーブル：　8脚×6人＝　48人分追加可能

追加テーブル使用で最大利用可能人数 222人

☆この用紙を食事等注文票と一緒に提出してください。

《記入例》

秋田米飯給食事業協同組合

アレルギー物質に関するアンケートのお願い

この度は、お弁当を御注文頂き、誠にありがとうございます。
当組合では、アレルギー物質を含む食品をご飲食された際に、体調を崩される可能性のあるお客様に、下記アンケートのご協力を頂いております。

1）下記についてご理解をお願い致します。

※「特定原材料」及び「特定原材料に準ずるもの」以外のアレルギー物質につきましては、原材料規格書からの特定が困難なため、調査を実施しておりません。

※ 当組合はアレルギーをお持ちの方に対応した工場ではありません。この為、アレルギーの原因となる食品自体が「製品に入っていなければ食べられる方」以外の方への製品提供は行っておりません。

※ 製造機械・器具類及び製造ラインを使い分けて製造することが出来ないため
①「成分等が含まれる食品」について食べられないお客様につきましては、加工食品や調味料などに含まれているアレルゲンについて確認を行い、除外して製品を製造することができるか検討し、製品提供できるかどうかを判断させて頂いております。
②「二次的に付着した食品」が食べられないお客様につきましては、二次的な付着を完全に避けることが出来ない為、製品の提供をお断りさせて頂いております。
（但し、当組合製造工場内で取り扱いのない食品に関しましては、製品の提供が出来る場合もございます。）

・成分等が含まれる例　：肉焼売に含まれるかにエキス、さつま揚げに含まれる小麦・大豆、ベーコンに含まれる乳 等

・二次的に付着する例 ： 同一調理器具での調理、同じ油で揚げる、同じお湯で茹でる、手指から付着 等

2）高校生以下の年齢の方は保護者様がご記入下さい。

3）以下の対象食品自体について、「食べられる」又は「食べられない」どちらかを「〇」で囲んでご回答ください。また、**「食べられない」に「〇」をされた食品につきましては、「成分等が含まれる食品」及び「二次的に付着した食品」につきましても、必ず「食べられる」又は「食べられない」どちらかを「〇」で囲んでご回答ください。**

宿泊研修実施日：令和8年5月7日（木）・8日（金）　　アンケート記入日：令和8年4月15日

学校名　秋田市立マンタラメ中学校　　児童・生徒氏名：太平　山三郎　　保護者氏名：太平　美峰

	食品名	対象食品自体	成分等が含まれる食品	二次的に付着した食品	備考
特定原材料	えび	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	
	カシューナッツ	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	
	かに	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	
	小麦	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	
	そば	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	
	卵	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	
	乳	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	
	落花生	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	
	くるみ	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	

	食品名	対象食品自体	成分等が含まれる食品	二次的に付着した食品	備考
特定原材料に準ずるもの	あわび	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	
	いか	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	
	いくら	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	
	オレンジ	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	
	キウイフルーツ	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	
	牛肉	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	
	ごま	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	
	さけ	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	
	さば	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	
	大豆	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	
	鶏肉	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	
	バナナ	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	
	ピスタチオ	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	
	豚肉	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	
	マカダミアナッツ	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	
	もも	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	
	やまいも	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	
	りんご	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	
	ゼラチン	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	
	アーモンド	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	食べられる ・ 食べられない	

《 記 入 例 》

別記様式（第３条関係）

令和８年 ○月 ×日

（宛先）秋田市長

住　所　秋田市△△七丁目…
申請者　団体名　□□立○○学校
代表者　校長　○○　△△　印

秋田市太平山自然学習センター使用料減免について（申請）

秋田市太平山自然学習センター管理運営規則第６条の規定に基づき、使用料の減免を申請します。

記

１　使 用 日　　令和８年 ○月 ×日(△)～令和８年 ○月 ×日(△)

２　減免理由　　□□立○○学校☆学部で、教育課程として行われる教育活動で使用するため。

３　減 免 額

宿泊使用料	２６，０００円
日帰り使用料	３４０円
減免前合計	２６，３４０円
減免額(50％)	１３，１７０円

※内訳は別紙「使用許可申請書」のとおり

○ 電話番号一覧

総合病院		
中通総合病院	018－833－1122	南通みその町3－15
秋田赤十字病院	018－829－5000	上北手猿田字苗代沢222－1
秋田厚生医療センター	018－880－3000	飯島西袋一丁目1－1
市立秋田総合病院	0570－01－4171 （ナビダイヤル）	川元松丘町4－30

官公庁		
秋田東警察署	018－825－5110	上北手百崎字内山60－2
旭川駐在所	018－868－1200	添川字添川168－9
太平駐在所	018－838－2211	太平目長崎字長橋1－1
秋田消防署	018－823－4100	山王一丁目1－1

周辺施設		
リゾート公園総合案内所	018－827－2270	テニスコート、オートキャンプ場、木材支払い
補陀寺	018－827－2326	見学、座禅体験
旭川ダム管理事務所	018－827－2040	旭川ダム・ダム公園見学

交通機関		
秋田中央交通	018－823－7731	路線バス、貸切りバス
工藤興業	018－839－7575	貸切りバス
あさひタクシー	018－834－5555	配車
キングタクシー	018－862－6677	配車
国際タクシー	018－833－5931	配車